開校 36 周年　～Road to 40Years～

三小だより

令和８年３月１日　発行
＜３月号＞
江戸川区立南葛西第三小学校
校長　佐久間　貴広

２月 19 日（木）に行われた持久走記録会には、たくさんの保護者の皆様に土手まで足を運んでいただきありがとうございました。少し前までの暖かさとは打って変わって冷たい風が猛烈に吹く中での実施となりましたが、温かい応援が子供たちの大きな励みになったことと思います。

持久走は、自分にあった一定の速さで走り続けることをねらいとしており、今年は高学年を中心に体育科の学習で 200m ごとにタイムを記録し、自分の走りのペースを見付けることを目指して取り組んできました。その成果もあり、寒さや強風にも負けずに頑張って走る姿に、進行していた教職員もパワーをもらいました。

持久走記録会は、歩いて５分の距離に土手があるという地域環境を生かした教育活動、学校行事です。学校アンケートでもこうした教育活動を評価するご意見をいただきました。来年度、再来年度…と続けていき、ますます本校の特色ある教育活動として盛り上げていきたいと思います。

一年の成長を振り返る月

桃の節句の３月を迎えます。日の光が明るくやわらかくなり、春の気配を感じます。今年度も残すところひと月となりました。年度末に向け、学習や生活における一年の成長や変容を振り返る時期です。

一年間の様々な学びや経験を通してどの学年も成長してきていますが、その中でも、環境が大きく変わった１年生は、特に大きな成長や変化を感じるかもしれません。４月に入学して小学校生活をスタートさせ、日々新しいことの連続だったと思います。そんな１年生の２月初めに見た国語科「もののなまえ」の授業。たい（鯛）とあじ（鯵）のような一つ一つの物の名前（下位語）と、「魚」のように意味による語句のまとまり（上位語）があることに気付くことをねらいとした授業でした。

授業では、「ことばしんけいすいじゃく」という活動を通して、子供たちも楽しみながら言葉のまとまりを考えていきました。さくらとあさがおは「花」、トマトとキュウリは「やさい」、クッキーとせんべいは「おやつ」などいろいろな言葉のまとまりを見付けていきます。グループごとに「ことばしんけいすいじゃく」に取り組んだ後の確認では、たくさん上位語が発表されました。「〇〇と◇◇はまとめると□だよね。」のように、自然と「上位語」を考え、意味による語句のまとまりを理解しているのが分かります。

すると、「「おやつ」と「やさい」は『たべもの』でなかまじゃない。」という声が上がります。すると、「それなら「パン」も同じじゃない。」と続きます。「クッキーやトマト、カレーパン」という下位語で考えると仲間とは思えなかった言葉も、それぞれの上位語である「おやつ」「やさい」「パン」という言葉で捉えると、「たべもの」というさらなる上位語に子供たち同士のやり取りの中で気付けたのです。対話的な学習を通して自分たちで学習を深めていく、１年生ながらなんとダイナミックな学習が行われているのだろうと、見ていて嬉しくなったのと同時に、１年間の成長をしっかりと感じることができました。

１年生だけでなく、どの学年も様々な学びや経験を通して、一人一人が成長しました。この３月は、御家庭でも１年間を振り返り、具体的にほめることで新しい学年への意欲を高めていただけたらと思います。

最後になりましたが、本校の教育活動に、この１年間様々なご支援とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

【1年間の校内研究を振り返って】

研究推進委員長　佐藤　英美

今年度は特別活動、特に学級会を中心に、校内研究を進めて２年目となりました。「みんなでやりたいこと」を「みんなで話し合い」、「みんなで決めて」、「みんなでやる」ということを目標に取り組んできました。また、今年度は学級経営や教科指導と学級会を結び付けて、全ての教育活動を通じてよりよい人間関係を作っていくことを目指しました。

教室には「話合い10の約束」が掲示され、国語や算数、音楽など話合いを行うときはこの約束を意識させました。また、教師が全てのことを決定するのではなく、子供の意見を聞き、問いかけながら子供の考えを引き出すことを大切に、学級経営をしてきました。

日々の子供たちとの関わりが学級会でも生かされ、友達の意見を最後まで聞いたり、少数意見を大切にしたりする姿が見られました。どうしたら様々な意見をまとめることができるのか試行錯誤する姿は、成長を感じる場面でした。これらの経験を次に生かしていきたいと思います。

【６年生の様子】

６年担任　小野寺　智子

土曜公開日に学活の授業で「学年集会」を行いました。今回は「卒業に向け思い出をつくろう」という提案理由をもとに、「児童による児童のための集会」として内容を話し合いながら企画、準備、当日の進行、振り返りまで、全てを子供たちだけで進めました。各学級に与えられた持ち時間は10分。1組は鬼ごっこ、２組は長なわ、３組は全員リレーと、それぞれが工夫を凝らした活動を考えました。

思い通りに進まない難しさを感じる場面もありましたが、仲間と声を掛け合いながら最後までやり切る姿が見られました。自分たちでつくり上げた達成感に満ちた思い出に残る時間となりました。６年生91人全員が、悔いなく卒業できるように最後まで見守っていきたいと思います。

【持久走記録会】

体力向上部　南　孝彰

２月19日(木)、旧江戸川河川敷で持久走記録会を行いました。低学年は約700m、中学年は約1000m、高学年は約1200mを走りました。

土手で、いつもとは違う景色を感じながら、子供たちがそれぞれの目標に向けて、胸いっぱいに期待と緊張を抱え走り切りました。普段の生活では走ることのない距離を走ったということもあり、苦しげな表情を浮かべている場面も見られましたが、ゴールまで走り切った際には達成感と安堵から多くの児童が満面の笑みを浮かべていました。

季節の行事を通して、運動する楽しさや気持ちよさなどを子供たちが感じられるように、今後も指導していきたい思います。